

「車いす空の旅 北海道」にボランティアとして参加

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）が支援している、神奈川新聞厚生文化事業団などが主催する「車いす空の旅事業」に、今回も神遊協職員が障害者、ご家族の方々をサポートするボランティアとして参加しました。

| | |
|--------|---|
| 1. 実施日 | 平成24年9月6日（木）～8日（土） |
| 2. 場所 | 北海道（阿寒湖・摩周湖・網走オホーツク流氷館 など） |
| 3. 主催 | 神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催 |
| 4. 参加者 | 肢体障害者 15名とその家族及び看護師・ボランティアなど総勢 56名 |

5. 概要 神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会では、神奈川新聞厚生文化事業団などが主催する、車いす生活をおくる障害者とその家族を対象に毎年4月は沖縄、9月には北海道へ飛行機を利用して旅行をする「車いす空の旅事業」へ毎年300万円の支援を続けております。今回も職員が障害者とその家族をサポートするボランティアとして北海道の旅に参加しました。出発式には神遊協 伊坂重憲理事長も訪れ、関係者に見送られながら北海道へ出発。旅行中は天候に恵まれ、参加者は青空の下、摩周湖の絶景を堪能し、バスの車窓からは野生のエゾシカに出会うなど北海道の大自然を満喫することができました。また、ボランティアのサポートで大浴場の温泉に入浴したり、食事会やカラオケ大会などのイベントで交流を深めるなど、障害者やその家族、またボランティアにとっても忘れられない旅となりました。なお、この「車いす空の旅」については、9月7日付及び9月9日付神奈川新聞にそれぞれ掲載され、9月18日には神奈川新聞の特集ページで紹介されました。



ボランティアの介助で摩周湖展望台へ



阿寒湖ではマリモ観察センターを見学

※ この活動は、第4回（平成20年度）社会貢献団体機構の組合部門優秀賞を受賞しております。

http://ajosc.org/honoring/2008_02.html#3

※ 神奈川新聞厚生文化事業団ホームページ

<http://www.kanagawa-shimbun.jp/information/associatedcompany/kouseibunkajigyou.html>